

子宮頸がん・乳がん検診のお知らせ

問い合わせ 健康推進グループ
(☎0100)

子宮頸がん、乳がんは女性のがんの中で増加傾向にあります。早期発見のために、定期的に検診を受けましょう。

日時 7月23日(水)8時30分～、12時30分～
場所 しんた21

申込方法 5月30日(金)までに必要事項を記入し、申し込みフォームまたはファクス、はがきで健康推進グループ(〒059-0016 片倉町6丁目9-1、☎0111)

必要事項 希望する検診名、時間帯、氏名(ふりがな)、生年月日、住所、電話番号、健康保険の種類、乳がん検診を希望する方のみ：超音波検査希望の有無、託児を希望の方のみ：子どもの名前・年齢

※登別市国民健康保険や後期高齢者医療制度の加入者、市民税非課税世帯または生活保護世帯の方は無料(乳がん検診の超音波検査を除く)です。なお、市民税非課税世帯または生活保護世帯の方は所定の証明書が必要です。詳しくは問い合わせください。

※午前のみ託児ができます(事前予約)。



申し込みフォーム

◎子宮頸がん検診

対象	奇数月生まれの20歳以上の女性
内容	子宮頸部細胞診
定員	午前90人、午後60人(申し込み順)
料金	1,700円

◎乳がん検診

対象	奇数月生まれの40歳以上の女性
内容	マンモグラフィ検査 ※希望者のみ超音波検査を追加で受けることができます(自己負担額5,500円、定員18人を超えた場合は抽選)。
定員	午前75人、午後50人(申し込み順)
料金	2,200円(50歳以上は1,900円)

慢性閉塞性肺疾患(COPD)をご存じですか

問い合わせ 健康推進グループ
(☎0100)

慢性閉塞性肺疾患(COPD)は、たばこの煙などの有害な空気を吸い込むことで気管支や肺胞などに障がいが生じる進行性の病気で、肺気腫や慢性気管支炎などが含まれます。

重症化すると、少し動くだけでも息切れしてしまい、生活に大きな影響を及ぼします。

COPDになると、肺機能が徐々に低下していくため、早期に治療を開始することが重要です。

○COPDの症状

次の症状に思い当たる方は、COPDの可能性があります。適切な治療を受けることで悪化を未然に防ぐことができますので、早めに医療機関を受診しましょう。

- 1日に何度もせきが出る
- 息切れしやすい
- 呼吸をするとゼイゼイ、ヒューヒューと音がる
- 黄色や粘り気のある痰が出る
- 体重が減少してくる



○禁煙指導

COPDになる最大の原因は喫煙です。すでにCOPDを発症していても、たばこをやめることで、その後の肺機能の低下はたばこを吸わない人とほぼ同じになるとされています。

たばこをやめたいけれど自分の意思だけではどうしてもやめられないという方は、医師からの禁煙指導を受けてみませんか。

禁煙指導を受けられる医療機関は、医療情報ネット(ナビ)を開き、『登別市 禁煙指導』で検索ください。



▲医療情報ネット(ナビ)

○たばこをやめることが難しい方へ

喫煙は、本人の健康に影響を及ぼすだけでなく、たばこの煙によって周囲の人の健康にも大きな影響を及ぼします。

快適な公共空間や周りの方の健康を守るため、次のことは守りましょう。

- 灰皿のないところでは喫煙しない
- 妊婦や子どもの周囲では喫煙をしない
- 歩きながらの喫煙や吸い殻のポイ捨てをしない
- 分煙をしている場所では、マナーを守る